

「新委員長就任のご挨拶」

ウェスレアン・ホーリネス教団札幌新生教会 岡田順一



昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行によって、北海道聖化大会も中止せざるをえませんでした。当時の委員長であった高橋養二先生と相談し、断腸の思いで中止を決断したことでした。そして六月のこと、高橋養二先生が訪問くださり、健康のために委員長を退き、私に委員長になるようにとのお言葉でした。一旦はお断りしましたが、理由がご健康のためとのことでしたので、他の役員の先生方がご了承くださることを前提にお引き受けしました。

その後、高橋養二先生は闘病生活を経て、遂に二月六日に平安のうちに召天されました。七九歳でした。高橋先生は、しばしば日本聖化交友会の発起人であった本田弘慈先生のことを私にお話くださいました。本田先生の著書である「聖化の恵み／人はきよくあり得るか」の冒頭に次のように記されており、「神の恵みによって、私たちがキリストの御救いにあずかり、祝福と勝利の道を歩むとき、そこには大きな喜びがあります。それは信じた者のみを持つ大きな特権です。多くのクリスチャンは、神の恵みの深さを知り、その大きな愛に対する感謝にあふれています。ところが、時々、喜んでいるはずのクリスチ

ヤンが元気をなくしていたり、勝利が得られなくなっている姿を見ます。また、心の中に深い悩みを抱きながら、時には主の恵みより離れ去ってしまう人もあるのです。：クリスチャンの戦いの敗北の原因は外部にあるのではなく、実は、そのクリスチャンの内部にあることを見出します。この内部の問題を扱うのが、聖化なのです」

「神の御心は、あなたがたが聖なる者となることです。」（一テサロニケ四章三節）聖なる者となることは神の御心です。親が子の健康を願うように神は私たちが霊的に健康であることを願っておられます。コロナ禍にあっても皆さんの内に尽きない喜びがあふれているでしょうか。どうか北海道聖化大会に霊的健康診断のためにぜひご出席ください。

高橋養二先生は、常に喜びに満ちているお方でした。私も何度も高橋先生から愛に満ちた言葉、祈りによって励まされ、喜びの大きな感化をいただきました。その高橋先生の中に満ちていた喜びは、本田先生が記しておられるように、聖化の結果としての尽きない喜びでした。私もそれを受け継いでいきたいと心から願っております。

